

第37回 日本TDM学会・学術大会

The 37th Annual Meeting for the Japanese Society of Drug Therapeutic Drug Monitoring

[SCIEX 共催]

イブニングセミナー

SCIEXの質量分析装置がどのようにTDMの基礎と応用に活用されているかを、東北大学病院薬剤部の前川 正充 准教授にご紹介いただきます。

日時 2021年5月29日(土)
16:05 ~ 16:50
オンライン開催

※WEB開催(ライブ配信・オンデマンド配信)への参加にはオンライン参加登録が必要です。
詳しくは学会公式サイト (<https://site2.convention.co.jp/37tdm/index.html>) をご覧ください。



質量分析を用いたTDMの基礎と応用ならびに 東北大学病院薬剤部における薬剤師教育体制について

東北大学病院薬剤部
准教授・副薬剤部長

前川 正充 先生

【講演要旨】

免疫抑制薬、抗菌薬及び抗てんかん薬等の薬剤における治療薬物モニタリング(TDM)の有効性から、特定薬剤治療管理料が算定可能となっている。その測定には、主に免疫化学的手法や液体クロマトグラフィー(LC)が用いられてきたが、近年ではタンデム質量分析(MS/MS)技術の汎用化とともにLC/MS/MS法が用いられるようになってきている。2017年には「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の改正で、質量分析装置がクラスI医療機器で登録可能となり、その活用の機運が高まっている。しかしながら、質量分析計の使用は、未経験者にとって未だ高いハードルとなっており、基礎的知識や情報の不足が活用の妨げとなっている。そこで本セミナーでは、質量分析計を用いた薬物血中濃度の基礎と、一斉分析における応用事例、さらには、当院における質量分析の日常業務ならびに研究への活用と薬剤師への教育・指導体制について紹介する。



株式会社エービー・サイエックス

本社：〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー 21F
TEL：0120(318)551 FAX：0120(318)040

大阪：〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-19-3 ピアスタワー 3F

www.sciex.jp Email: jp_sales@sciex.com

本製品は研究用のみ使用できます。診断目的およびその手続き上での使用はできません。

The SCIEX clinical diagnostic portfolio is For In Vitro Diagnostic Use. Rx Only. Product(s) not available in all countries. For information on availability,

please contact your local sales representative or refer to <https://sciex.com/diagnostics>. All other products are For Research Use Only. Not for use in Diagnostic Procedures.

Trademarks and/or registered trademarks mentioned herein, including associated logos, are the property of AB Sciex Pte. Ltd. or their respective owners in the United States and/or certain other countries.

© 2021 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.

MKT07-972A